

●円山動物園ホッキョクグマの双子の性別について

昨年12月8日に誕生したホッキョクグマの双子の赤ちゃんの性別が、身体測定時の複数の職員による視診と体毛を用いた2度にわたるDNA雌雄判定により、2頭ともに雌と判明しました。

今回のDNA雌雄判定は、平成22年12月に生まれたホッキョクグマの赤ちゃん「アイラ」の時と同様、北海道大学獣医学研究科の多大な協力を得て行われたものです。

今後は、今しばらく成長を見守った後、双子の母親であるホッキョクグマ「ララ」のアニマルファミリー会員から愛称案を募集します。寄せられた愛称案の中から円山動物園で候補を三つほど選び、7月上旬から園内等で来園者による一般投票を実施し、8月中旬ごろに愛称を決定する予定です。

1 出生日

平成 24 年 12 月 8 日 (土)

2 性別

2 頭ともに雌

3 個体情報

	個体 A (左耳の毛を刈っている)	個体 B (右耳の毛を刈っている)
体重 ※	22. 6kg	23. 4kg
頭胴長※	約 82 cm	約 80 cm
性格	少し慎重	好奇心旺盛で積極的

※平成 25 年 4 月 14 日測定時。5 月 21 現在の推定体重は約 30kg。

4 ララの繁殖実績

平成 15 年 12 月 11 日ツヨシ (雌) 出産。平成 17 年 1 月 22 日釧路市動物園へ転出。

平成 17 年 12 月 15 日ピリカ (雌) 出産。平成 19 年 2 月 2 日おびひろ動物園へ転出。

(現在は旭山動物園にて飼育)

平成 20 年 12 月 9 日イコロ (雄)・キロル (雄) 出産。

イコロ：平成 22 年 2 月 22 日おびひろ動物園へ転出。

キロル：平成 23 年 3 月 6 日浜松市動物園へ転出。

平成 22 年 12 月 25 日アイラ (雌) 出産。平成 24 年 2 月 20 日おびひろ動物園へ転出。

※ 5 頭の繁殖に成功したララの成育実績は、現在国内最多タイ記録。双子を無事に育てれば、国内単独トップとなる。

5 ホッキョクグマの現状

ホッキョクグマは、地球温暖化等の影響を受け平成 18 年に国際自然保護連合 (IUCN) により絶滅危惧種に指定された。現在、野生下での生息数は、22,000 頭ほどとされている。

世界の動物園では、平成 22 年末現在で 136 施設 341 頭が飼育されており、世界的に飼育頭数の減少が加速している。日本では、平成 24 年末現在 22 施設 47 頭が飼育されている。

<平成 25 年 5 月現在の双子の様子>



問い合わせ先

環境局円山動物園飼育展示課 柴田・石橋

電話：621-1426